

シート番号	3106-01	名 称	太子講碑
分 類	供養塔	場 所	坂田 西本名輪
小 分 類	参拝供養塔	メッシュ番号	1323
年 号	和暦：享保元年 西暦：1716年		
形 状	舟型		
サ イ ズ	高：54cm、		
画像番号	3106-01-01		

(天蓋線刻図)

享保元年丙申天
願主浄春法師



南無聖徳太子

台石 (沓) (沓)

コメント；元は滝の前不動に祀られていた。聖徳太子は法隆寺の建立や、大工道具の巻き尺を発明したとの伝承により、建築関係や、やま仕事をする人たちの信仰を集めた。太子講は在地講であって、代参などの参拝行為はしない。昔の坂田地域には、太子講があったと考えられます。